
より一層の環境負荷低減を目指します

サークルKサンクス、CO₂排出量削減目標を設定

1店舗あたりのCO₂排出量を2014年度までに2007年度対比8%削減

株式会社サークルKサンクス（本部：東京都中央区、代表取締役社長：中村 元彦）は、CO₂排出量削減目標を、2014年度までに2007年度対比で、1店舗あたり8%削減に設定いたしました。これは総量で約25,000トンの削減に相当します。

店舗にて発生するCO₂の大部分は電気エネルギーの使用によるものです。これまでもサークルKサンクスでは各種省エネルギー設備の導入により、積極的に電気使用量削減に取り組んでまいりました。今後、新設店舗または既存店舗において新たな取組みを順次導入し、1店舗あたりの使用電力量を2014年度までに2007年度対比で、約13,800kwh削減することにより、上記目標の達成を目指してまいります。

◆今年度のCO₂削減に向けた店舗での主な取組み

（1）蛍光灯本数を変更

- ・2003年に店内売場照明の蛍光灯本数を60本に削減したほか、2008年には58本とし省力化を進めてまいりました。今年度の新設店舗からは52本と更なる削減を図ります。
- ・新設店舗のポール看板の蛍光灯本数も、従来の16本から8本に削減します。



（2）売場照明の調光システムの調整

- ・売場照明の調光システムを設置している店舗を対象に、出力を変更し照度を調整します。店内の明るさを損なうことなく、消費電力量を削減することができます。



（3）省エネ性の高い照明器具の導入

- ・省エネ機器実験店舗の実績を踏まえ、LED等省エネ性の高い照明を導入していきます。
- まず今年度は、新設店舗及び既存店舗のトイレ内、トイレ前室照明をLED電球に変更し、消費電力量を削減します。

サークルKサンクスでは、次年度以降も更なる取組みにより、CO₂排出量削減を図ってまいります。